

宮崎森林管理署都城支署交渉（全国林野関連労働組合都城支署分会）

議 事 要 旨

1 日 時 令和3年12月15日（水）12：15～13：00（45分）

2 場 所 宮崎森林管理署都城支署 会議室

3 出席者：

宮崎森林管理署都城支署	塚本 徹	支署長
同	迫畑 啓逸	総括事務管理官

全国林野関連労働組合都城支署分会	水本 博充	委員長
同	稲員 優次	副委員長
同	高木 一将	書記長
同	河本 正人	執行委員
同	犬童 伸博	執行委員
同	森本 博之	執行委員

4 交渉事項

- (1) 令和3年度事業実行の状況について
- (2) 労働安全について
- (3) 労働時間の短縮等、労働諸条件の改善について
- (4) その他

5 議事概要

- (1) 令和3年度事業実行の状況について

組合) 令和3年度事業実行の進捗状況はどのような状況か伺いたい。

当局) 各事業については、新型コロナウイルス感染症の関係で職員の方々にご不便をかけているが、職員の方々のご努力のお陰で早期発注に努め、当初の予定どおり進捗しているものと認識している。

組合) 令和3年度補正予算及び令和4年度予算関係はどのような状況か伺いたい。

当局) 令和3年度補正予算等は、現在、国会で審議中であり、具体的な情報が現段階ではないところである。

組合) 今後の課題について、会計実地検査は3年連続の受検となり、対象署の選定を事業量が多いという理由で決められると事業量の多い署はその分業務が多忙なため職員への負担も考えて欲しい。

また、次期計画の予備編成の進捗状況と問題点をどのように認識しているか。

当局) 3年連続の会計実地検査で職員の方々には業務の負担をかけており申し訳ないと考えている。受験対象署の選定方法については、局を通じて本庁に対して意見を進達していきたいと考えている。

また、予備編成の進捗については、業務多忙の中で職員のご協力と応援態勢により取り組んでいただき、出来たところから局に提出しているが、遅れている部分について取組の強化が必要と認識している。

(2) 労働安全について

組合) 現在、職員災害や請負事業体の重大災害が相変わらず発生している。幸いにも当支署管内では今年度発生していないところではあるが、人事ではないと考えている。狩猟期の安全対策に対する認識も含めどのように考えているか認識を伺いたい。

当局) 労働安全の確保については職員・請負を問わず、人命尊重を基本理念に災害の未然防止・重大災害の絶滅のため「3号通達」等に基づき各種対策を行っているところ。職員災害は、全国では前年同月比で6件増、九州局でも前年総件数から既に1件の増となっている。請負事業においては全国で5件、九州局管内でも1件の重大災害が発生している。職員に対しては、機会ある毎に災害事例に基づいた類似災害の防止や狩猟期を含めた安全確保対策について呼びかけを行っているところである。また、請負事業体に対しては契約時の安全指導や安全パトロールにおいて伐倒作業にあたっての留意点や各種安全対策の徹底等について指導しているところであり、引き続き災害の未然防止に取り組んでいく考えである。

組合) 狩猟期初日である11月1日に現場出張を計画していた。狩猟期初日の現場出張見合わせについて、予め職員周知していたことは承知しているが、重大災害の未然防止の対策への理解が浸透するよう周知を徹底して欲しい。

当局) 安全対策として周知した取組がしっかり職員に伝わるよう徹底したい。

組合) 今年は九州局管内でもダニ刺咬による疾病が多かったが、ダニ刺咬は当支署でも平成30年度に職員が亡くなっている。ダニ対策の徹底と忌避剤の適正使用や刺咬後の病院受診等の指導を引き続き徹底すること。

当局) ダニ刺咬等における安全対策については、当支署職員が亡くなるという事態を踏まえ、忌避剤等の使用や林野通知を徹底するなど指導しているところであるが、機会あるごとに、まずは、咬まれない・咬まれた場合の対策等を徹底し、各種通知等に基づいた対策に取り組んで参りたい。

組合) 空調服について、これまで試行が行われてきたが、局管内で森林官が野宿するという事案も熱中症の影響と考えており、職員の安全を考慮すれば来年の現場業

務に間に合うよう年度末までに調達するべきではないか。当局の熱中症に対する認識と対策について認識を伺いたい。

また、事務所などに備付けではなく、個々のサイズなどあるので個別に配布するべきではないか。

当局) 近年、猛暑日になるなど現場業務、特に森林官等過酷な状況であると認識している。空調服については、年度内に予算を確保し、まずは現場業務に従事している職員に対し配布できるよう調達したいと考えている。

(3) 労働諸条件の改善について

組合) 年休を取得しやすいような環境となるよう、引き続き目配り・気配りをお願いしたい。

当局) 年休の取得促進を図ることは、職員の心身の健康保持・ゆとりある生活の実施の観点から、大変重要な事であると認識しているところであり、引き続き、目配り・気配り等を行い声かけを行うなど、休暇を取得しやすい環境で、仕事のメリハリをつけながら心身のリフレッシュにつなげられるよう取り組んで参りたい。

組合) 要員の確保、特に空きポスト・事務取扱の解消を要望する。

また、フルタイム再任用の者が転職により途中で退職することがあるが、一時的にフルタイムを任用ポストとして使われるのは問題であり、任期まで3G・4Gの仕事に勤め上げるという覚悟を持って希望した者を任用して欲しい。

当局) 要員の確保については、事業量が増加して中のご苦労して頂いていることは認識しているところであり、今後、再任用となる職員が増えていくことから、当署の実態を上局にしっかり伝えて要員の確保に向け取り組んで参りたい。

組合) 山上手当、シカ捕獲手当は危険度、精神的苦痛に応じて林内作業全体に範囲を拡充し手当額の増額を要望する。

当局) 支給対象の拡大や手当額の増額については、当事者能力がないことから、貴組合の要望については、上部進達することとしたい。

組合) 8～9月末までに行ったテレワークについて、問題点、改善点はなかったか。支署としての分析・総括を行うべきではないか。

当局) テレワークは、初めて行ったが職員のご協力により概ねできたと考えている。一方、各担当の業務にバラつきがあり課題が残ったと認識している。今後に向けて職員へのアンケートなどにより分析を行い、問題点や改善点を整理したい。

(4) その他

組合) 出署日や会議など、コロナ禍で開催しづらい状況であったが、情報共有のためWEB等を活用するなど定期的な開催を要望する。森林官等のPCも更新が完了したが今後の対応をどのように考えているか伺いたい。

当局) 局・署等間で繋いだWeb会議もうまくできたので、当支署内でも機会をみてWeb会議を活用し効率的な情報共有を行っていきたいと考えている。

組合) 車両更新について、林道走行により痛んでいるため適切な時期に更新すること。

当局) 車両については、今年度3台の更新を予定している。他にも更新要望を上申しているので、引き続き効率的な車両更新ができるよう上局に申し入れしていきたい。

組合) 出張時の車両割当てについて、森林官に署の車両を貸し出す場合は緊急時の保有車両の確保など配慮すること。

当局) 出張時の車両割当ては、長距離・街乗りなど使用場所に応じて対応しているところ。今後とも署の業務に支障が出ないよう適切に車両の管理運用を計画していきたい。

組合) 車両の運行にあたっては、職員に対し故障や損傷によって修理代が増えないような車両管理の指導をして欲しい。

当局) 車両や機器類の操作については、出署日等の機会を通じて丁寧に使用するよう指導していきたい。

組合) 職場の円滑な業務運営を行うため。現体制で風通しの良い環境づくりを共に作り上げたいと考えているので、管理者の強力なリーダーシップをお願いしたい。

当局) 円滑な事業運営を行うためには、職員の安全、健康の保持増進、また、明るく活気がある風通しの良い職場となるよう、引き続き、目配り・気配りを忘れずに取り組んで参りたい。また、貴団体との良好な関係が重要であり、議論すべきは議論するとの基本姿勢に立ち信頼関係を構築していきたいと考えている。

(以上)